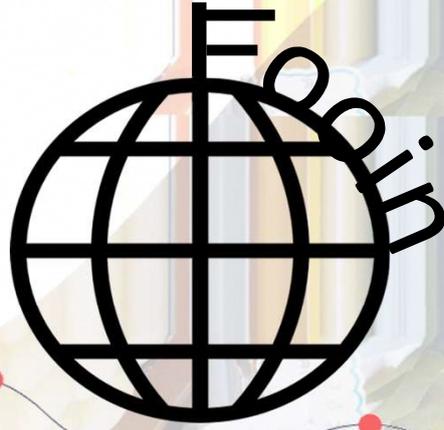


2052年からのご招待状



未来の「食」のために
ここから
食からはじめよう

Food open-innovation in Niigata

Vol.1

2022年8月31日 13:30～16:30

@新潟県イノベーション施設NINNO

(新潟県新潟市中央区笹口1-2 プラーク2 2F)

主催



新潟市
Niigata City

共催



経済産業省
関東経済産業局

協力



NINNO

本イベントについて

新潟市の強みであり市内企業への波及効果の高い食分野を中心に「フードテック（食×テクノロジー）」をキーワードに創業や新事業展開を支援する取り組みを令和2年度より行ってきました。今年度はこれまでの取り組みを活かしつつ、フードオープンイノベーションの考え方を取り入れたプロジェクトとして**Food open-innovation in Niigata**の活動を展開していきます。

本イベントはそのオープニングイベントです。「未来の食」を囲みながら*、食の未来のことを様々な立場の目線で考えます。講演では、生活スタイルの変化や食料供給問題、食に関する技術動向などの課題提供を行います。その講演内容を踏まえ参加企業が何に取り組めるのか？イノベーションの種はどこにあるのか？を想像し、様々なスタートアップ企業との交流、共創からイノベーションの加速につなげていきます。

※感染症拡大防止のため食事の提供は実施しません。未来をテーマにした「食」のお土産をご提供します。
※参加対象者 市内食関連企業、県内外技術企業・研究機関など

What's Fooin(フーイン)?

「食」はすべてに繋がっている。

食を育む自然、生命・体をつくる食、土地の四季や気候を反映した食、食の体験...
食を通して広がった環は、「食文化」として収斂されていく。

「食べる」は原始的な行為であり、文化的な行為です。
エッセンシャル産業であり、エンタメや観光のような非エッセンシャル産業の側面を持つ特殊な領域です。必要不可欠であり、人の心の機微に訴える領域。

だからこそ、豊かでなくてはならない。
イノベーションがおき続けることで、食を通じた環と環が循環を続けられる状態でなくてはならない。

さあ、繋ごう。未来に。
食にイノベーションを。食の実験をする。挑戦をする。
それが**Food open-innovation in Niigata**
新潟から始まります。



Time Schedule

PART1 13:30～

13:30-13:35 あいさつ
新潟市長 中原八一

13:35-13:45 説明
Fooinについて

13:45-14:30 講演
「食の未来を見据えたフードビジネスの新展開」
木附 誠一 氏
(株式会社三菱総合研究所主席研究員)
「農林水産省におけるフードテックへの取組」
平野 由夏 氏
(農林水産省大臣官房新事業・食品産業部 企画グループ)

PART2 14:45～

自己紹介（自社の取組紹介やオープンイノベーションニーズ発表など）/懇談/食のご紹介を交互に進行し交流をいただく時間です。

☑未来の「食」のご紹介

未来をテーマにした食のお土産をご提供します。

☑Fooinピッチ/自己紹介

自己紹介/自社紹介と食の未来のテーマで関心のあること

☑懇談/交流

16:20-16:30 終わりに
石原 優 氏

(経済産業省関東経済産業局地域経済部次世代産業課長)

お申込はコチラ

人数：30名程度
申込日：8月26日（金）



Fooin運営事務局（株式会社イーdoa内）

申込：URL <https://forms.gle/2kVT3cbpiQNKz2sQ7>
担当：佐藤 m.sato@edoa.co.jp



※事業主催：新潟市 経済部 成長産業・イノベーション推進課